

# 宣明曆具注曆に記載された日食について

## 宣明曆による日食計算と具注曆記載の基準

竹迫 忍

西暦862年に導入された宣明曆法による日食予報の計算及び日食記録との比較については広瀬秀雄/内田正男両氏の「宣明曆に関する研究」がある。(注:1)筆者はこれと同じく安藤有益著「長慶宣明曆算法」を基に日食計算プログラムを作成し、その結果の日食一覧表をもとに実際の具注曆にて日食記載の有無を確認した。その調査結果の詳細を表 - 2 に示す。

「宣明曆」では日食の食甚時に月の黄緯が北緯の時に起きる日食を陰曆、月の黄緯が南緯の時に起きる日食を陽曆と分類している。これはまた観測者の視差により変化するが、表 - 2 では視差の影響を考慮する前の値を陰陽2、視差の影響を考慮したものを陰陽3とした。(注:2)

また、表 - 1 に宣明曆施行期間中の宣明曆による日食計算結果をまとめた。

表 - 1 宣明曆施行期間中(西暦862年~1684年)の日食計算結果のまとめ

陰陽2/陰陽3	食種	全数 (A)	日食あり (B)	的中率 (A/B)	曆記載 (C)	記載無 (D)	曆記載率 (C/C+D)
陰曆	昼食	249	204	81.9%	22	7	75.9%
	帯食	120	65	54.2%	13	1	92.9%
	夜食	248	8	3.2%	4	21	16.0%
	非食	152	3	2.0%	1	15	6.3%
陽曆 陰曆	昼食	26	17	65.4%	1	1	50.0%
	帯食	10	3	30.0%	1	0	100.0%
	夜食	49	1	2.0%	0	8	0.0%
	非食	0	0	-	0	0	0.0%
陽曆	昼食	264	13	4.9%	0	29	0.0%
	帯食	113	1	0.9%	0	11	0.0%
	夜食	256	3	1.2%	0	24	0.0%
	非食	151	0	0.0%	0	12	0.0%
陰曆 陽曆	昼食	19	6	31.6%	0	0	0.0%
	帯食	6	0	0.0%	0	0	0.0%
	夜食	68	1	1.5%	0	7	0.0%
	非食	0	0	-	0	0	0.0%
		1731	325	18.8%	42	136	23.6%

これらの表から分かることは、

陰陽3で見た場合、陽曆の日食83件中1件も具注曆に記載されていない。

陰曆の昼食/帯食で具注曆に記載されていない9件のうち5件は食分が1.5以下。

夜食で曆に記載されている4件は日の出間近で帯食と計算/判断した可能性がある。

以上のことをまとめると、宣明曆時代の曆作成者は以下のような基準で具注曆に記載する日食を選択した可能性が高いことがわかる。

『陰曆(陰陽3)の日食の中で白昼食並びに帯食。ただし食分1.5以下を除く。』

この基準に合わないものは上記を除くと178件中5件(陰昼食3,陰帯食1,陰非食1)で全体の約3%。これはには曆作成者の計算ミスなどが多く含まれると思われる。またこの具注曆への記載基準により具注曆に記載された場合(但し食分は考慮せず)、予報した日食の的中率が平均7割程度  $((204+65+17+3)/(249+120+26+10)=71.4\%)$ であったことも表 - 1 から確認できる。尚、今回日食記載の有無の確認が出来た日食は合計178件で調査期間約600年間(西暦998年~1601年)の全日食1264件の約14%に当たる。

- 注1) 内田正男氏と広瀬秀雄氏は「宣明暦に関する研究(1,2,3,4)」東京天文台報(1968,69,70,72)で宣明暦の暦計算と日食計算の概要並びに日食記録との比較を行っている。同様の内容が内田正男著「日本暦日原典」(第4版,1992)でも発表されている。又計算結果はその一部が古川麒一郎、伊東和彦、岡田芳朗、大谷光男共著「日本暦日総覧 具注暦篇」に収録されている。
- 注2) 宣明暦の陰陽暦の扱いについては横塚啓之著「宣明暦の日食計算における陽暦と陰暦について」数学史研究、通巻198号(2008年7月~9月)が詳しい。この論文でいうところの第2段階の陰陽暦を陰陽2、第3段階の陰陽暦を陰陽3とした。

付 - 1: 調査した具注暦の文献リスト

- 1) 「陽明叢書 御堂関白記」思文閣出版
- 2) 「陽明叢書 深心院関白記」思文閣出版
- 3) 「陽明叢書 後深心院関白記」思文閣出版
- 4) 「水左記(複製)」宮内省書陵部編、便利堂、1954
- 5) 「師守記」(国会図書館 YD-古-133~8)
- 6) 「満濟准后日記」(国会図書館・貴重書画像データベース)
- 7) 「明德元年具注暦断簡」(国会図書館・貴重書画像データベース)
- 8) 「慶長六年具注暦」(京都大学電子図書館)
- 9) 「兵範記」(京都大学電子図書館)
- 10) 「大日本古記録 猪隈関白記」東京大学史料編纂所編、岩波書店
- 11) 「大日本古記録 民経記」東京大学史料編纂所編、岩波書店
- 12) 「大日本古記録 實躬卿記」東京大学史料編纂所編、岩波書店
- 13) 「大日本古記録 後深心院関白記」東京大学史料編纂所編、岩波書店
- 14) 「大日本古記録 深心院関白記」東京大学史料編纂所編、岩波書店
- 15) 「続群書類従31下 雑部」塙保己一編、続群書類従完成会、1958
- 16) 「図書寮叢刊 経俊卿記」宮内庁書陵部、1970
- 17) 「大日本史料」東大史料編纂所
- 18) 「大日本古文書 醍醐寺文書」東京大学史料編纂所
- 19) 「国宝 東宝記 紙背文書影印」東宝記刊行会編、東京美術、1986
- 20) 「尊経閣善本影印集成 類聚三代格」八木書店、2006
- 21) 「東京大学史料編纂所紀要18号」東京大学史料編纂所、2008
- 22) 「天文・暦・陰陽道」年代学研究会編、岩田書院、1995
- 23) 「仏教美術研究上野記念財団助成報告書 図像蒐成」同研究会、2002
- 24) 「日本天文史料」神田茂編、恒星社、1935
- 25) 「日本・朝鮮・中国 日食月食法典」渡邊敏夫、1979  
(509-10ページに載る記事の内、1600年迄で具注暦と注記のある日食)
- 26) その他表 - 2中に記載の国会図書館及び国立公文書館所蔵具注暦

表 - 2 日食の記載の有無を調査できた具注暦

id	和暦		宣明暦法計算結果					現代の日蝕計算結果			具注暦	記録史料
	年	月	陰陽2	陰陽3	食種	食分	食甚(h)	食分	食甚(h)	食種*		
1	長徳4年	10	陰曆	陰曆		3.3	13.7	3.2	16.1		曆	陽明叢書 御堂関白記
2	長保元年	9	陰曆	陰曆		15	14	8.2	15.6		X	陽明叢書 御堂関白記
3	長保2年	3	陰曆	陰曆	帯蝕	11.3	17.2			夜食	曆	陽明叢書 御堂関白記
4	寛弘元年	1	陰曆	陰曆	夜蝕	7.6	22.5			夜食	X	陽明叢書 御堂関白記
5	寛弘2年	6	陽曆	陽曆		3.9	13.4			夜食	X	陽明叢書 御堂関白記
6	寛弘4年	10	陰曆	陰曆	夜蝕	10.1	1.8			夜食	X	陽明叢書 御堂関白記
7	寛弘5年	10	陰曆	陰曆	非蝕	-3.7	1.5			夜食	X	陽明叢書 御堂関白記
8	寛弘6年	9	陽曆	陽曆	非蝕	-5.7	17.5			夜食	X	陽明叢書 御堂関白記
9	寛弘7年	閏2	陰曆	陰曆	夜蝕	3.2	23.9			夜食	X	陽明叢書 御堂関白記
10	寛弘8年	2	陽曆	陽曆	夜蝕	3.6	-0.8			夜食	X	陽明叢書 御堂関白記
11	長和元年	2	陽曆	陽曆	非蝕	-7	0.5			夜食	X	陽明叢書 御堂関白記
12	長和2年	6	陽曆	陽曆		9.1	7.6			夜食	X	陽明叢書 御堂関白記
13	寛仁2年	4	陰曆	陽曆	夜蝕	13.2	-0.5			夜食	X	陽明叢書 御堂関白記
14	寛仁3年	9	陽曆	陽曆		3.3	15.2			夜食	X	陽明叢書 御堂関白記
15	寛仁4年	2	陽曆	陽曆	夜蝕	9.8	19.8			夜食	X	陽明叢書 御堂関白記
16	康平7年	4	陰曆	陰曆	夜蝕	3	21			夜食	X	宮内省書陵部編 水左記
17	康平7年	9	陽曆	陽曆	帯蝕	12.1	6.5			夜食	X	宮内省書陵部編 水左記
18	永久3年	7	陰曆	陰曆		10	11.4	13.9	14.0		X	続群書類従31下
19	保延5年	4	陽曆	陽曆		1.8	14.4			夜食	X	兵範記11(京大図書館WEB)
20	保延5年	9	陽曆	陽曆		1.2	8.3			夜食	X	兵範記11(京大図書館WEB)
21	久安4年	9	陽曆	陽曆	夜蝕	11	22.3			夜食	X	仏教美術研究報告書 図像蒐成
22	仁平3年	7	陽曆	陽曆		8.4	10.6			夜食	X	兵範記10(京大図書館WEB)
23	承安3年	11	陰曆	陰曆	夜蝕	7	3.1			夜食	X	具注暦(国立公文書館 194-233-1)
24	正治元年	7	陰曆	陰曆	帯蝕	12.4	4.8	5.7	5.0	帯食*	曆	大日本古記録 猪隈関白記
25	正治2年	6	陰曆	陰曆		1.4	6.1	4.1	5.4	帯食*	曆	大日本古記録 猪隈関白記
26	正治2年	11	陰曆	陰曆		0.9	10.3	0.1	12.3		X	大日本古記録 猪隈関白記
27	建仁元年	5	陽曆	陽曆	夜蝕	7.5	24.3			夜食	X	大日本古記録 猪隈関白記
28	建仁元年	11	陰曆	陰曆	夜蝕	12.8	19.4			夜食	X	大日本古記録 猪隈関白記
29	建仁2年	5	陽曆	陰曆		0.5	11.5	2.8	13.7		X	大日本古記録 猪隈関白記
30	建仁2年	閏10	陰曆	陽曆	夜蝕	13.8	22			夜食	X	大日本古記録 猪隈関白記
31	建仁3年	4	陰曆	陰曆	帯蝕	11.5	4.8	4.8	5.0	帯食*	曆	大日本古記録 猪隈関白記
32	建保2年	3	陽曆	陽曆	夜蝕	0.1	3			夜食	X	続群書類従31下
33	承久元年	5	陽曆	陽曆		3.3	5.6			夜食	X	大日本古記録 猪隈関白記
34	貞応元年	4	陰曆	陰曆	夜蝕	5	3.7	1.9	4.3	帯食*	曆	大日本古記録 猪隈関白記
35	安貞元年	6	陰曆	陰曆		8.1	8.8	1.7	8.0		X	大日本古記録 民經記1
36	安貞元年	12	陰曆	陽曆	夜蝕	3.8	6.1			夜食	X	大日本古記録 民經記1
37	寛喜3年	4	陰曆	陽曆	夜蝕	14	2.3			夜食	X	大日本古記録 民經記3
38	寛喜3年	10	陽曆	陰曆	帯蝕	7.7	6.4			夜食	曆	具注暦(日食月食法典)
39	大福元年	3	陽曆	陽曆	非蝕	-0.2	12.7			夜食	X	大日本古記録 民經記6
40	嘉禎3年	6	陽曆	陽曆		5.7	12.9			夜食	X	圖書寮叢刊 経俊卿記
41	仁治元年	5	陰曆	陰曆	非蝕	-3.3	11.3			夜食	X	江談抄(国立公文書館 194-231)
42	仁治元年	閏10	陽曆	陽曆	非蝕	-5.7	19			夜食	X	江談抄(国立公文書館 194-231)
43	寛元4年	6	陽曆	陽曆	夜蝕	12.7	22.7			夜食	X	大日本古記録 民經記8
44	寛元4年	12	陰曆	陰曆	夜蝕	0.9	25.9			夜食	X	大日本古記録 民經記8
45	宝治元年	6	陽曆	陽曆		9.7	9.2			夜食	X	大日本史料5-24
46	建長元年	4	陰曆	陰曆		8.9	9.9	14.7	11.4		曆	大日本史料5-27
47	建長元年	10	陽曆	陽曆	帯蝕	14.6	15.8			夜食	X	大日本史料5-27
48	建長5年	8	陰曆	陰曆	夜蝕	11.2	1.4			夜食	X	圖書寮叢刊 経俊卿記
49	建長6年	7	陰曆	陰曆	非蝕	-0.5	2.1			夜食	X	圖書寮叢刊 経俊卿記
50	康元元年	6	陽曆	陽曆		9.9	9.1			夜食	X	圖書寮叢刊 経俊卿記
51	文永2年	1	陰曆	陰曆	帯蝕	12	8	10.1	9.3		曆	陽明叢書 深心院関白記
52	文永3年	11	陽曆	陽曆	帯蝕	5.2	17.3			夜食	X	大日本古記録 深心院関白記
53	文永4年	5	陰曆	陰曆	帯蝕	14	17.7			夜食	曆	大日本古記録 民經記9
54	文永4年	11	陽曆	陽曆	夜蝕	10.5	25.7			夜食	X	大日本古記録 民經記10
55	文永11年	6	陽曆	陽曆		11.4	17.1			夜食	X	大日本古記録 實躬卿記1
56	弘安4年	2	陽曆	陽曆	帯蝕	12.2	18.6			夜食	X	大日本古記録 實躬卿記2
57	正応元年	9	陽曆	陽曆		6.3	12.7			夜食	X	具注暦(国立公文書館 194-232)
58	正応3年	2	陽曆	陽曆	非蝕	-0.5	1.6			夜食	X	大日本古記録 實躬卿記2
59	正応3年	8	陰曆	陰曆	帯蝕	11.9	17.5	7.7	18.3	帯食*	曆	大日本古記録 實躬卿記2
60	嘉元2年	11	陰曆	陰曆	帯蝕	9.5	6.4	10.7	7.4	帯食*	曆	具注暦(日食月食法典)
61	徳治2年	3	陰曆	陰曆	帯蝕	13.1	18.4			夜食	曆	具注暦(日本天文史料)
62	正和元年	6	陰曆	陰曆	帯蝕	5.6	15.8	10.0	18.6	帯食*	曆	具注暦(日食月食法典)
63	嘉暦3年	1	陰曆	陰曆	夜蝕	9.7	3.7			夜食	曆	具注暦(日食月食法典)
64	延元3年/暦応元年	2	陰曆	陰曆	非蝕	-9.1	18.9			夜食	X	師守記1(国会図書館 YD-古-133-8)
65	延元3年/暦応元年	7	陰曆	陰曆	非蝕	-5.9	8.6			夜食	X	師守記1(国会図書館 YD-古-133-8)
66	延元3年/暦応元年	閏7	陽曆	陽曆	非蝕	-6.6	17.2			夜食	X	師守記1(国会図書館 YD-古-133-8)
67	延元3年/暦応元年	12	陽曆	陽曆	夜蝕	1.4	1.7			夜食	X	師守記1(国会図書館 YD-古-133-8)
68	延元4年/暦応2年	6	陰曆	陰曆	夜蝕	12.8	21.8			夜食	X	師守記4(国会図書館 YD-古-133-8)
69	延元4年/暦応2年	12	陽曆	陽曆		14.3	11			夜食	X	師守記4(国会図書館 YD-古-133-8)
70	興国元年/暦応3年	6	陽曆	陽曆	夜蝕	2.6	2.2			夜食	X	師守記6(国会図書館 YD-古-133-8)

id	和暦		宣明暦法計算結果					現代の日蝕計算結果			具注暦	記録史料
	年	月	陰陽2	陰陽3	食種	食分	食甚(h)	食分	食甚(h)	食種*		
71	興国元年/暦応3年	12	陰暦	陰暦	夜蝕	12.6	0.3			夜食	X	師守記6(国会図書館 YD-古-133~8)
72	正平元年/貞和2年	2	陰暦	陰暦		9.9	12.1	4.3	14.6			師守記21(国会図書館 YD-古-133~8)
73	正平2年/貞和3年	1	陰暦	陰暦		0.1	12.8	5.4	14.8		X	師守記22(国会図書館 YD-古-133~8)
74	正平4年/貞和5年	6	陽暦	陽暦	夜蝕	0.6	24.3			夜食	X	師守記28(国会図書館 YD-古-133~8)
75	正平4年/貞和5年	11	陰暦	陰暦	夜蝕	5.3	-0.5			夜食	X	師守記31(国会図書館 YD-古-133~8)
76	正平5年/観応元年	11	陰暦	陰暦		0.2	15.7			夜食	X	国宝 東宝記 紙背文書影印
77	正平6年/観応2年	5	陰暦	陰暦	帯蝕	6.9	5.5			夜食	X	国宝 東宝記 紙背文書影印
78	正平6年/観応2年	11	陽暦	陽暦	夜蝕	5.1	-0.6			夜食	X	国宝 東宝記 紙背文書影印
79	正平11年/延文元年	2	陰暦	陰暦	夜蝕	9.3	0.7			夜食	X	陽明叢書 後深心院開白記
80	正平11年/延文元年	8	陽暦	陽暦	夜蝕	11	-0.2			夜食	X	陽明叢書 後深心院開白記
81	正平12年/延文2年	1	陽暦	陽暦		3.7	10.7			夜食	X	陽明叢書 後深心院開白記
82	正平12年/延文2年	12	陽暦	陰暦	夜蝕	7.5	21.1			夜食	X	大日本古記録 後深心院開白記1
83	正平13年/延文3年	6	陽暦	陰暦		4.9	9.2	9.7	9.5		暦	陽明叢書 後深心院開白記
84	正平13年/延文3年	12	陰暦	陰暦		14.9	10.2	4.8	11.6		暦	陽明叢書 後深心院開白記
85	正平14年/延文4年	6	陽暦	陽暦		11.4	10.5			夜食	X	陽明叢書 後深心院開白記
86	正平14年/延文4年	12	陰暦	陰暦	非蝕	0	1.3			夜食	X	陽明叢書 後深心院開白記
87	正平15年/延文5年	閏4	陰暦	陰暦	夜蝕	8.1	3.4			夜食	X	陽明叢書 後深心院開白記
88	正平15年/延文5年	10	陽暦	陽暦	非蝕	-2.1	22			夜食	暦	陽明叢書 後深心院開白記
89	正平16年/康安元年	4	陰暦	陰暦		11.1	17.2	5.9	19.3	帯食*	暦	陽明叢書 後深心院開白記
90	正平16年/康安元年	10	陽暦	陽暦	夜蝕	5.8	24.3			夜食	X	大日本古記録 後深心院開白記2
91	正平17年/貞治元年	4	陽暦	陽暦		13.2	10.2			夜食	X	大日本古記録 後深心院開白記2
92	正平17年/貞治元年	10	陰暦	陽暦	夜蝕	10.4	24.7			夜食	X	大日本古記録 後深心院開白記2
93	正平18年/貞治2年	3	陽暦	陽暦	非蝕	-11.3	0.8			夜食	X	大日本古記録 後深心院開白記2
94	正平18年/貞治2年	9	陰暦	陰暦	非蝕	-6.5	3.8			夜食	X	大日本古記録 後深心院開白記2
95	正平19年/貞治3年	2	陰暦	陰暦	非蝕	-0.6	20.8			夜食	X	陽明叢書 後深心院開白記
96	正平19年/貞治3年	8	陽暦	陽暦	帯蝕	12	6.6			夜食	X	大日本古記録 後深心院開白記2
97	正平20年/貞治4年	8	陽暦	陰暦	夜蝕	11	-0.4			夜食	X	大日本古記録 後深心院開白記3
98	正平21年/貞治5年	1	陽暦	陰暦	夜蝕	3.5	24.3			夜食	X	陽明叢書 後深心院開白記
99	正平22年/貞治6年	1	陽暦	陽暦	非蝕	-6.9	6			夜食	X	陽明叢書 後深心院開白記
100	正平22年/貞治6年	6	陽暦	陽暦		1.3	5			夜食	X	陽明叢書 後深心院開白記
101	正平22年/貞治6年	12	陰暦	陰暦		9.9	9.5	12.2	9.8		暦	陽明叢書 後深心院開白記
102	正平23年/応安元年	6	陽暦	陽暦	帯蝕	13.7	6.5			夜食	X	陽明叢書 後深心院開白記
103	正平23年/応安元年	11	陰暦	陰暦	夜蝕	8.8	-0.9			夜食	X	陽明叢書 後深心院開白記
104	正平24年/応安2年	5	陰暦	陰暦		12.9	12.8	13.7	13.3		暦	大日本古記録 後深心院開白記3
105	正平24年/応安2年	11	陽暦	陽暦	帯蝕	11.8	8.6			夜食	X	陽明叢書 後深心院開白記
106	建徳2年/応安4年	閏3	陽暦	陽暦		5.9	10.3			夜食	X	陽明叢書 後深心院開白記
107	建徳2年/応安4年	9	陰暦	陰暦	夜蝕	12.1	19.6			夜食	X	陽明叢書 後深心院開白記
108	文中元年/応安5年	3	陽暦	陰暦	夜蝕	11	25.2			夜食	X	陽明叢書 後深心院開白記
109	文中元年/応安5年	9	陰暦	陰暦	夜蝕	6.5	1.2			夜食	X	陽明叢書 後深心院開白記
110	文中2年/応安6年	3	陰暦	陰暦	帯蝕	12.2	6.8	7.0	7.8		暦	陽明叢書 後深心院開白記
111	文中2年/応安6年	9	陽暦	陽暦		9.6	15.6			夜食	X	陽明叢書 後深心院開白記
112	文中3年/応安7年	2	陰暦	陰暦		2.5	8.5	2.3	8.7		暦	陽明叢書 後深心院開白記
113	天授元年/永和元年	1	陽暦	陽暦	夜蝕	14.8	20.1			夜食	X	陽明叢書 後深心院開白記
114	天授元年/永和元年	7	陰暦	陰暦		5.4	10.7	3.2	13.1		暦	陽明叢書 後深心院開白記
115	天授2年/永和2年	1	陽暦	陽暦	夜蝕	12.6	3.8			夜食	X	陽明叢書 後深心院開白記
116	天授2年/永和2年	7	陽暦	陽暦		4.8	16.5			夜食	X	陽明叢書 後深心院開白記
117	天授3年/永和3年	6	陽暦	陽暦		6.8	17.7			夜食	X	陽明叢書 後深心院開白記
118	天授3年/永和3年	12	陰暦	陰暦		2.9	11	6.3	11.7		暦	陽明叢書 後深心院開白記
119	天授4年/永和4年	5	陰暦	陰暦	非蝕	-2	10.8			夜食	X	陽明叢書 後深心院開白記
120	天授4年/永和4年	11	陽暦	陽暦	夜蝕	10.2	4.2			夜食	X	陽明叢書 後深心院開白記
121	天授5年/康暦元年	閏4	陰暦	陽暦	夜蝕	2.4	-0.6			夜食	X	陽明叢書 後深心院開白記
122	天授5年/康暦元年	10	陽暦	陰暦	夜蝕	1.7	5.9			夜食	X	陽明叢書 後深心院開白記
123	天授6年/康暦2年	10	陰暦	陰暦	帯蝕	8.4	6.3			夜食	暦	具注暦(「日食月食法典」)
124	元中元年/至徳元年	2	陽暦	陽暦	帯蝕	5.7	6			夜食	X	国宝 東宝記 紙背文書影印
125	元中元年/至徳元年	8	陰暦	陰暦	夜蝕	3.3	21.3			夜食	X	国宝 東宝記 紙背文書影印
126	元中7年/明徳元年	閏3	陽暦	陽暦	帯蝕	13.8	6.9			夜食	X	明徳元年具注暦断簡(国会図書館WEB)
127	明徳4年	1	陽暦	陽暦	非蝕	-2.6	2.3			夜食	X	国宝 東宝記 紙背文書影印
128	明徳4年	7	陰暦	陰暦	帯蝕	14.4	18.7			夜食	暦	国宝 東宝記 紙背文書影印
129	応永4年	5	陰暦	陰暦		13.9	7.2	12.6	7.6		暦	具注暦(国会図書館 YD-古-325)
130	応永16年	9	陽暦	陽暦		6.9	7.5			夜食	X	大日本古文書 醍醐寺文書
131	応永17年	3	陰暦	陰暦	非蝕	-11.2	24.3			夜食	X	師守記64(国会図書館 YD-古-133~8)
132	応永17年	9	陽暦	陽暦	夜蝕	13	0			夜食	X	師守記64(国会図書館 YD-古-133~8)
133	応永18年	2	陽暦	陽暦		4.4	11			夜食	X	満濟准后日記(国会図書館WEB)
134	応永18年	8	陰暦	陰暦	非蝕	-4.4	0.5			夜食	X	統群書類従31下
135	応永20年	1	陰暦	陰暦		12	13.3	14.3	15.1		暦	満濟准后日記(国会図書館WEB)
136	応永20年	7	陽暦	陽暦	帯蝕	10.9	6.1			夜食	X	満濟准后日記(国会図書館WEB)
137	応永21年	1	陰暦	陰暦	夜蝕	5.5	4			夜食	暦	満濟准后日記(国会図書館WEB)
138	応永21年	6	陰暦	陰暦	非蝕	-2.3	0.1			夜食	X	満濟准后日記(国会図書館WEB)
139	応永21年	7	陽暦	陽暦		2.1	11.3			夜食	X	満濟准后日記(国会図書館WEB)
140	応永21年	11	陽暦	陽暦	夜蝕	5.3	23.3			夜食	X	満濟准后日記(国会図書館WEB)

id	和暦		宣明暦法計算結果					現代の日蝕計算結果			具注暦	記録史料
	年	月	陰陽2	陰陽3	食種	食分	食甚(h)	食分	食甚(h)	食種*		
141	応永22年	5	陰暦	陰暦		8.7	15.1	14.3	17.7		暦	満濟准后日記(国会図書館WEB)
142	応永22年	11	陽暦	陽暦	夜蝕	13.6	24.1			夜食	X	満濟准后日記(国会図書館WEB)
143	応永23年	5	陽暦	陽暦		7.3	8.8	0.9	8.6		X	満濟准后日記(国会図書館WEB)
144	応永23年	11	陰暦	陰暦	夜蝕	0.8	24.8			夜食	X	満濟准后日記(国会図書館WEB)
145	応永24年	5	陽暦	陽暦	夜蝕	11	24.8			夜食	X	満濟准后日記(国会図書館WEB)
146	応永24年	10	陰暦	陰暦	非蝕	-3.4	4.5			夜食	X	満濟准后日記(国会図書館WEB)
147	応永25年	3	陰暦	陰暦	非蝕	-0.5	18.2			夜食	暦	満濟准后日記(国会図書館WEB)
148	応永25年	9	陽暦	陽暦	帯蝕	8.8	7.2			夜食	X	満濟准后日記(国会図書館WEB)
149	応永26年	3	陰暦	陰暦	帯蝕	10.8	19.1			夜食	暦	満濟准后日記(国会図書館WEB)
150	応永26年	9	陽暦	陰暦	夜蝕	13.3	-0.8			夜食	X	満濟准后日記(国会図書館WEB)
151	応永27年	2	陽暦	陰暦	夜蝕	5.3	23.3			夜食	X	満濟准后日記(国会図書館WEB)
152	応永27年	8	陰暦	陰暦		11.7	11.3	10.6	13.0		暦	満濟准后日記(国会図書館WEB)
153	応永28年	2	陽暦	陽暦	非蝕	-5	6.8			夜食	X	満濟准后日記(国会図書館WEB)
154	応永29年	1	陰暦	陰暦		9	12.8	9.2	13.8		暦	満濟准后日記(国会図書館WEB)
155	応永29年	7	陽暦	陽暦	夜蝕	14.7	2.1			夜食	X	満濟准后日記(国会図書館WEB)
156	永享元年	8	陰暦	陰暦		1.9	8.3			夜食	暦	具注暦('日食月食法典')
157	永享4年	1	陰暦	陰暦	非蝕	-0.5	13.3			夜食	X	具注暦(国会図書館 YD-古-803)
158	永享9年	3	陰暦	陽暦	夜蝕	14.7	0.6			夜食	X	具注暦(国立公文書館 194-495)
159	永享9年	9	陽暦	陽暦		2.4	7.9			夜食	X	具注暦(国立公文書館 194-495)
160	康正元年	4	陰暦	陰暦		6.5	8	9.8	7.5		暦	具注暦('天文・暦・陰陽道')
161	長祿3年	7	陽暦	陽暦	夜蝕	6.3	24.9			夜食	X	統群書類従31下
162	寛正3年	5	陽暦	陽暦		8	11.9			夜食	X	神木御動座/背紙23-381(国立公文)
163	寛正3年	11	陰暦	陰暦	夜蝕	3	21			夜食	X	神木御動座/背紙23-381(国立公文)
164	寛正4年	5	陰暦	陰暦	帯蝕	12.6	18.9			夜食	暦	神木御動座/背紙23-381(国立公文)
165	寛正4年	10	陽暦	陽暦		14.8	9.7			夜食	X	神木御動座/背紙23-381(国立公文)
166	文明16年	9	陰暦	陰暦		13.8	9.8	8.9	8.7		暦	塵芥記(国立公文書館 古35-106)
167	明応6年	1	陽暦	陽暦	夜蝕	10.4	21.8			夜食	X	革曆類(国立公文書館 特117-4)
168	明応6年	7	陰暦	陰暦	夜蝕	10	22.7			夜食	X	革曆類(国立公文書館 特117-4)
169	明応6年	12	陰暦	陰暦	夜蝕	5.5	4			夜食	X	革曆類(国立公文書館 特117-4)
170	永正15年	11	陽暦	陽暦	夜蝕	4.7	4			夜食	X	史料編纂所紀要18号
171	大永4年	1	陽暦	陰暦	夜蝕	14	24.5			夜食	X	尊経閣善本影印集成 類聚三代格2
172	大永6年	5	陰暦	陰暦	非蝕	-5.5	9.7			夜食	X	尊経閣善本影印集成 類聚三代格2
173	大永6年	6	陽暦	陽暦	非蝕	-8.3	25.4			夜食	X	尊経閣善本影印集成 類聚三代格2
174	天正10年	6	陰暦	陰暦		12.2	14.4	8.9	15.5		暦	具注暦(国立公文書館 194-495)
175	天正10年	12	陰暦	陰暦		1.9	12.5	2.1	14.4		暦	具注暦(国立公文書館 194-495)
176	慶長4年	6	陰暦	陰暦		3	13.8			夜食	暦	具注暦('日食月食法典')
177	慶長6年	6	陽暦	陽暦		13.3	10.4			夜食	X	慶長六年具注暦(京大図書館WEB)
178	慶長6年	閏11	陰暦	陰暦	夜蝕	3.8	23.9			夜食	X	慶長六年具注暦(京大図書館WEB)

付表 - 1 の説明

- 1) 和暦：宣明暦法にて計算される暦日。(表の日食は全て1日なので日付は略した。)
- 2) 宣明暦法計算結果：宣明暦法にて日食計算を行った計算結果。
- 3) 陰陽：宣明暦法にて計算される陰陽暦日食区分。陰陽 2 は視差を考慮しない区分。陰陽 3 は視差(気差、刻差)を考慮した区分。陰陽 2 から陰陽 3 で変化したものは色分けで示した。
- 4) 食種：帯食(日出/日入時に日食中のもの)、夜食(夜中に日食となるもの)。
- 5) 食分：食分の最大は15。
- 6) 食甚：食甚の時刻。定小餘 x24 時間で計算した。例えば 13.5 は午後 1 時 30 分。
- 7) 現代の日食計算結果：筆者日食ソフト Emapwin で日食計算した結果。
- 8) 尚、Emapwin は DE406 をベースにしたベッセル要素と F.R.Stephenson 「Historical Eclipses and Earth's Rotation」(1997) table 14.1 の T を使用。
- 9) 食分：皆既(1.0)を 15 としたときの食分。観測地は平安京(東経 135.73 ° 北緯 34.98 °)
- 10) 食甚：食甚の時刻(日本標準時)。上記と同じく例えば 13.5 は午後 1 時 30 分。
- 11) 食種：上記と同じ。尚、「帯食\*」とあるものは日出/日入時が最大食分の日食。
- 12) 具注暦：暦：具注暦に記載あり。x：具注暦に記載無し。
- 13) 記録史料：具注暦の記録を確認した史料名

2008/1/20 に WEB に掲載した「宣明暦法により具注暦に記載された日食」の改訂版  
(第一版：2009/07/12)